

開発に、市民の税金

どんだけえ～

“4つのもり事業”と“町田駅周辺再開発”に

合計

800億円以上!



200億円超え

600億円以上

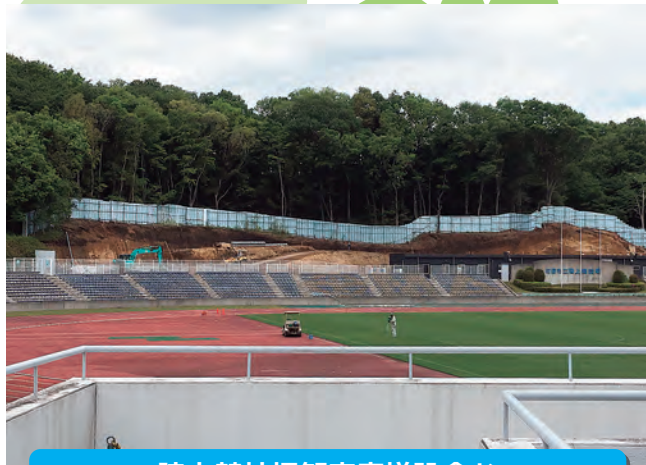


2019年第1回定例会が2月20日から3月28日まで行われました。日本共産党市議団は、4年連続の国保税値上げ「条例」と大型開発優先の一般会計予算に討論を行い、反対しました。

日本共産党

2019年度一般会計予算に討論、反対

大型開発やめて市民のくらしにまわせ



陸上競技場観客席増設含む
野津田公園スポーツの森整備に54億4千万円



薬師池公園四季彩の杜と
ウェルカムゲート整備に20億2千万円



さらに、
(仮称)国際工芸美術館整備に
30億円

芹ヶ谷公園芸術の杜整備に7億2千万円



南町田グランベリーパーク(南町田駅周辺拠点、
鶴間公園、北口広場)整備に81億9千万円

「財政難」理由に図書館、博物館、学校をなくすのか!?

石坂市政が「町田市5カ年計画17-21」を進めてきた「4つのもり事業」への支出がすでに163億7千万円(完成後は200億円超え)に。また、町田駅前にモノレールを導入した際の周辺再開発は600億円以上(用地費除く)になることが共産党市議団・細野龍子市議の代表質疑で明らかになりました。一方、市議会が採択した図書館や博物館の存続を求めた計3万人の請願結果に背き、鶴川図書館とさるびあ図書館の廃止を2月の教育委員会が決定。小中学校を減らすための「学校適正規模適正配置審議会条例」も設けました。財政難を理由に公共施設を減らし大型開発に莫大な税金投入する市民不在の「計画」は中止すべきです。

「真の未来予想図」を 市民とともにつくる!

中学校全員給食実現求める2万3千人の市民の声や図書館、博物館の存続を求める市民の声、国保税の引き下げや年金でも入れる特養ホーム増設を求める市民の声にこたえる「真の未来予想図」を市民とともにつくり実現するために日本共産党はがんばります。



立川駅北口デッキ
(立川市HPより)



ル・シーニュと交通ひろば
(府中市HPより)



モノレール駅が予定されるJR町田駅前

町田駅周辺再開発に600億円以上
「立川駅、府中駅以上にかかるのは容易に想像がつく」
(代表質疑答弁より)

日本共産党
町田市議団ニュース

2019年6月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団

検索